



奥多摩 福音の家 ニュースレター ● 2025. 10 ●

News Letter

vol.
82

60周年の「向こう岸」へ

運営委員

原 雅幸 師

JECA キリスト教たんぽぽ教会

私たちを愛される主は、従う者たちに良い変化、すなわち成長を求められます。ありのまま愛され、認められている私たちですが、成長を期待する愛をもって、主は私たちに語りかけられます。「向こう岸へ渡ろう（マルコの福音書4章35節）」と。

この声がかかったのは「夕方」でした。一日の働きを終えて、疲れも覚え、日も傾いて今夜はもう休もう、そういう「変わらないための言い訳」がたくさん見つかる時間帯でのチャレンジです。座り込んで動かなくなりそうな弟子たちに「さあ、向こう岸へ」と主は声をかけられる。（う～ん、別に明朝でもいいのでは?）と思った弟子もいたことでしょう。でもきっと、朝になったら、群衆が押し寄せ、舟を出す間がなくなり気づいたら夕方。そして「また明日」。そうしていつしか（こういう毎日でもいいのでは?）とお尻に根っこが生えてしまう。現代の心理学者はこういう心理を「現状維持バイアス」と呼ぶのですが、罪のからだに宿る「変わりたくない」性質を、聖書ははるか昔から見抜いているのではないのでしょうか。主イエスはそんな弟子たちに「向こう岸へ」と招かれるのです。

奥多摩福音の家という「舟」も「向こう岸へ」という声と「今日はもう暗いから」という声の間でせめぎ合っています。福沢諭吉の言を待つまでもなく

「現状維持は後退である」ことは世界の理。福音の家も例外なく、建物の老朽化（A館改修に着手しますよ! 献金してください!）、スタッフの退職（新キッチンスタッフ、キャンプコーディネーター募集中! お祈りしてください!）という抗えない変化の中、現状維持では先がありません。コロナ禍の時のように「向かい風に漕ぎあぐね」現状を維持するだけで必死という時期も確かにあるでしょう。けれども、今は違います。「向こう岸」へ向かう中での現状維持と、舟を出さない現状維持では雲泥の差。私たちは舟を出し、嵐の中でも舟をこぎ、闇の中で水をかぶっても主の声に従うことが求められるのです。

私自身、福音の家で「生まれ育ち」「育てられ」た一人として、「向こう岸へ」と舟を漕ぐべく昨年より運営委員の一員となりました。ですが、勢い余って一人で湖に飛び込む愚か者。「よく相談しなければ、計画は倒れる。多くの助言者によって、それは成功する。（箴言15章22節）」の御言葉に従わなくてはなりません。運営委員会だけの相談でも不十分。「教会の、教会による、教会のための」福音の家ですから「多くの助言者」が必要です。ですから、10月25日（土）は福音の家でお会いしましょう。なお、船頭はイエス様ですから「船頭多くして船山に上る」心配は無用です。

運営委員会からのお知らせ

運営委員長
大高 伊作 師
JECA 佐倉福音キリスト教会

いつも奥多摩福音の家をお祈りに覚えてくださり、心から感謝いたします。福音の家は7月、8月のハイシーズンを無事に終えることができました。

このニュースレターがお手元に届く頃には、2025年の福音の家の歩みも残り3ヶ月ほどになりますが、今年は昨年に比べますと厳しいところを通っています。前回のニュースレターでは1000万円から2000万円の赤字が見込まれるとご報告しましたが、現在は約800万円の赤字見込みです。皆様も同様の環境ですが、福音の家も物価上昇の影響を大きく受けておりまして、経営努力をしつつも厳しい状況が続いています。

そのような厳しい状況にありますが、施設の老朽化は待ったなしの状態です。以前にもご報告した通り、A館改修が10月下旬から始まります。費用は1940万円です。どうか必要が満たされるよう、そして、経営面においても支えられますようお願いください。

常勤スタッフについては、東野兄が来年の3月に退職予定のため、新しいキャンプコーディネーターが必要であり、永山兄の後任となるキッチンスタッフも引き続き募集しています。主が最善をなしてくださると信じておりますが、皆様にも背後にあってお祈りに覚えていただけますと幸いです。

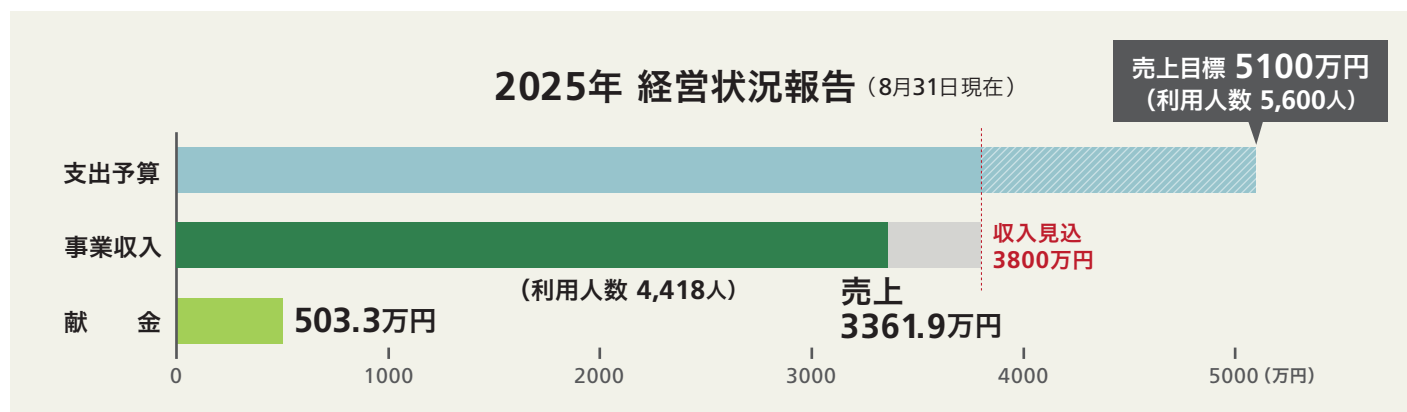
更に、近年課題になっているのは、ワーカーとして来てくださる方々の減少です。主催キャンプをはじめ

様々なキャンプ・修養会を開催するためには、ワーカーの方々のお力が必要です。福音の家、そしてキャンプ伝道の働きを支え合いながら継続していくために、今後どのようにしたら良いのか模索しています。良い知恵が与えられるよう、また、ワーカーの方々が備えられるようお祈りください。

また、前号で非常勤ディレクターの児玉智継先生の奥様のご健康について触れましたが、お祈りを感謝いたします。先日陰性という診断がなされ、今後は経過観察していくことになりました。感謝をもってご報告すると共に、続けて主の守りをお祈りください。

最後に、奥多摩福音の家は今年、創立60周年を迎えます。その感謝とこれからの福音の家の将来について共に語raitたく、10月25日(土)に創立60周年を祝う記念会を開催いたします。ぜひご参加ください。福音の家を愛して祈り、支えてくださっている方々とお会いできることを心から楽しみにしています。皆さまの上にも主の豊かな祝福がありますようお願いしています。

追記：奥多摩福音の家では発送費用などの関係で佐川急便のメール便を利用してニュースレターなどを発送しております。地域によって到着に違いが出ています。主催キャンプのことなどはホームページからも情報を得ることができますのでご活用ください。



ディレクターからのお知らせ

(主催キャンプ報告)

非常勤ディレクター
児玉 智継 師
JECA 布佐キリスト教会

主の御名を崇めます。

奥多摩福音の家のためのお祈りとお支えを心より感謝申し上げます。

この夏も、奉仕者(リーダーズ、カウンセラー、ワーカー)が集まらず厳しい状況もありましたが、神様の祝福のうちにすべてのキャンプを終えることができました。私自身は、夏の主催キャンプを振り返る時に、あの五千人の給食の場面を思い出しました(マタイ14:13-21など)。「ここには、パンが五つと魚が二匹よりほかありません」。十分な奉仕者が確保できない中で、主イエスの弟子たちと同じような気持ちになりました。五つのパンと二匹の魚が多くの人を養うのに十分でないことは、誰の目にも明らかなことでした。しかし、主イエスの御手に渡され、主イエスが祝福くださったことによって、五つのパンと二匹の魚が何倍、何十倍、何百倍にも用いられたのです。群衆は十分に養われ、さらに12のかごがいっぱいになるほどの恵みを与えられました。

あるキャンプの中で、メッセージを聞いていた男の子が、「それ、ぼくのことだ」と大きな声で反応していたのがとても印象的でした。大きな声で賛美をし、真剣にメッセージに耳を傾け、信仰の決心をした子どもたちの姿を見て、神様がこの場所を豊かに祝福してくださっていることを目の当たりにしました。

委員長報告にもありますように、現在、福音の家には多くの課題があります。私たちは、「ここには、パンが五つと魚が二匹よりほかありません」と心許なく返事をするしかできません。しかし私たちは、主イエスが祝福し、用いてくださるときに奇跡が起きることを信じています。ですから、神様の大きな御業に期待しつつ、キャンプ伝道の働きを継続していくため、将来へとつなげていくために、それぞれの五つのパンと二匹の魚をささげていきたいと思います。

福音の家が、キャンプ伝道を通して教会に仕え、教会と共に、主の働きの一端を担っていくことができるよう今後ともお祈りとご支援をよろしくお願いいたします。

新 キャンプコーディネーター募集！

職 種 = キャンプコーディネーター
仕 事 = 主催キャンプの企画立案・運営、
そのほか奥多摩福音の家の業務全般
資格・経験 = ●キャンプ伝道への召し(経験不問)
●基本的なパソコンスキル
●普通自動車運転免許
採 用 日 = 2026年 4月1日
※引継ぎ期間によっては要相談

雇 用 形 態 = 正職員 ※試用期間あり(本採用と同待遇)
給 与 = 職員給与規程による(賞与あり)
勤 務 地 = 奥多摩福音の家
休 暇 = 職員給与規程による(年次有給休暇あり)
福 利 厚 生 = 各種社会保険完備
必 須 事 項 = ●リーベンゼラ日本宣教団の信仰告白への同意
●教会の推薦
●救いの証し、キャンプ伝道への導きの証し

応募方法 下記必要事項を明記し、担当・児玉宛にメールか郵送でエントリーしてください。
①名前(ふりがな) ②Eメールアドレス ③住所 ④電話番号 ⑤生年月日 ⑦所属教団・所属教会
✉ tomotsugu0204@yahoo.co.jp

〒198-0105 東京都西多摩郡奥多摩町小丹波135 (奥多摩福音の家 担当・児玉)

応募締切 2025年12月31日 ※エントリーがあり次第、随時面接(締切前に募集終了となる可能性があります)

60周年記念 1965・2025

写真で辿る 60年の歩み ②



インターロッキング整備工事 (2001年)



B館前ヒマラヤ杉伐採 (2002年)



40周年記念フェスティバル

2005

2005年10月1日、奥多摩福音の家創立40周年記念フェスティバルを開催。初代ディレクター・ファーター宣教師夫妻もドイツから駆けつけ、福音の家を愛し、支えてきた多くの方々と共に、主の恵みを数えるひとときとなりました。



2012年、町の下水管工事に伴い、キッチンの改修工事が行われました。総面積は縮小されましたが、多くの厨房機器を新しくし、盛付けスペースや水回りの配置を工夫するなどして食事の提供がしやすくなりました。



2016年のB館大規模改修では、柱を残して外壁を解体、建物全体を持ち上げ、新たな基礎と柱の耐震補強、内装もユニットバス付きの個室に改装されました。A館利用が難しいコロナ禍でも、先行してご利用いただくことができました。



2016

10月25日(土) 奥多摩福音の家 創立60周年を祝う記念会へぜひご参加ください。

献金先

郵便振替口座 00170-5-92451 奥多摩福音の家

〈他行から〉 ゆうちょ銀行 ○一九 店(ゼロイチキユウ) 口座番号 0092451

福音の家の利用はホームページから予約いただけます

◎3ヶ月ごとのご予約状況を更新・掲載していますので、ご確認ください



www.ofi.camp
公式ホームページはこちら



お問い合わせ ☎ info@ofi.camp ☎ 0428-85-2317 (平日9:30-17:30)